



# 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ナック

コード番号 9788 URL <http://www.nacoo.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺岡 豊彦

問合せ先責任者 (役職名) IR・広報室 室長 (氏名) 小林 貴之

TEL 03-3346-2111

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	43,685	11.7	1,871	30.0	1,835	29.1	911	△7.0
23年3月期第3四半期	39,122	10.3	1,439	104.9	1,421	104.2	980	407.0

(注)包括利益 24年3月期第3四半期 891百万円 (△7.1%) 23年3月期第3四半期 959百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	116.42	—
23年3月期第3四半期	120.60	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	25,425	10,129	39.8
23年3月期	20,259	9,548	47.1

(参考)自己資本 24年3月期第3四半期 10,129百万円 23年3月期 9,548百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
24年3月期	—	25.00	—		
24年3月期(予想)				26.00	51.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,000	15.4	3,000	19.1	3,000	19.1	1,600	△20.8	204.18

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	9,359,625 株	23年3月期	9,359,625 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	1,507,001 株	23年3月期	1,560,902 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	7,828,534 株	23年3月期3Q	8,127,375 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) 重要な後発事象 .....	9
4. 補足情報 .....	10
受注の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年12月31日)における国内景気は、タイの洪水によるサプライチェーンへの新たな影響や歴史的水準での円高の定着が、欧米の景気停滞も相まって、輸出環境を更に厳しいものにしました。その結果、国内企業の収益は下押しされ、個人消費、雇用に大きな改善は見られませんでした。しかしながら、住宅産業や自動車産業において、政策支援の後押しによる需要増や、省エネ関連製品などにおける消費喚起は見受けられました。

このような状況のもと、当社グループでは、クリクラ事業における飲料水備蓄ニーズの高まりを受けての継続した販売促進が奏功しており、また住宅事業においては、新規拠点の増加や高付加価値住宅の販売促進寄与により、売上高、利益とも順調に推移しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高43,685百万円(前年同期比11.7%増)、営業利益1,871百万円(同30.0%増)、経常利益1,835百万円(同29.1%増)、四半期純利益911百万円(同7.0%減)となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

なお、各セグメントの営業損益のほかに、各セグメントに帰属しない全社費用等746百万円があります。

#### <クリクラ事業>

11月からは、4月に開設した中央研究所と、隣接する町田工場に見学コースを設けて一般公開するなど、当社の「クリクラ」ブランドはさらに認知度が向上しております。それにもなつて、製造本数も飛躍的に増加し、2011年(1月～12月)は前年比で40.9%増の1,413万本と、過去最高を記録しました。

その結果、売上高9,715百万円(前年同期比39.6%増)、営業利益354百万円(前年同期 営業損失57百万円)と大幅な伸長となりました。

また、全国の加盟店数は484社に増加し、それに伴い当期において宇都宮に製造プラントを新設し、生産体制の強化を図っております。

※「クリクラ事業」は、従来「ボトルウォーター事業」と表示しておりましたが、「クリクラ」というブランド名が認知されてきたことから、今期よりセグメントの名称を変更しております。

#### <レンタル事業>

年末に向けて清掃部門のハウスクリーニング需要が順調に寄与し、月間売り上げの過去最高を記録しましたが、ダストコントロール商品は、家庭市場において、東京都心部と茨城の2拠点でのリロケーションが奏功し健闘はあったものの、長引く円高による厳しい企業環境等の影響を受け、事業所市場の落ち込みは続きました。

以上の結果、売上高8,190百万円(前年同期比3.0%減)、営業利益1,181百万円(同16.1%減)となりました。

#### <建築コンサルティング事業>

主力ノウハウ商品の販売は、出店効果も合わせて順調に推移しております。共同仕入れによる部資材販売では、分散型電源として更にニーズが高まっている、太陽光発電システムの販売に人員を拡充し、受注を大きく伸ばしております。

会員工務店向けに今期からスタートした、フラット35利用者からの住宅受注サポートも定着してまいりました。

その結果、売上高2,202百万円(前年同期比32.9%増)、営業利益382百万円(同52.3%増)となりました。

#### <住宅事業>

東日本地域において、二世帯住宅の受注、引渡しが増加傾向にあり、それに伴って一棟当たりの単価が上がっております。その結果、売上高23,577百万円(前年同期比6.8%増)となりました。損益面については、東日本地域への応援体制による人員配置などの経費増がありましたが、営業利益698百万円(同10.1%増)となっております。

受注状況につきましては、当第3四半期連結累計期間の受注棟数は1,924棟(前年同期1,626棟)、また、受注残は1,358棟(同978棟)となり、順調に推移しております。

なお、出店につきましては、本年度中に、長久手・蟹江展示場の開設を予定しております。

さらに、大都市近郊への事業展開を念頭に、狭小地向け3階建ての新商品を開発しました。本年度中に愛知、静岡で販売を開始いたします。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は、25,425百万円となり、現預金の増加、商品及び製品、住宅事業における未成工事支出金等たな卸資産の増加により前連結会計年度末に比べ5,165百万円増加しました。  
負債総額は、15,295百万円となり、主として、短期借入金の増加及び住宅事業における買掛金・未成工事受入金の増加により前連結会計年度末に比べ4,584百万円増加しました。  
純資産は、10,129百万円となり、四半期純利益911百万円計上等により利益剰余金が増加し、前連結会計年度末に比べ581百万円増加しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の連結業績は、ほぼ期初計画の範囲内で推移しており、現時点におきましては、平成23年11月9日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,968,787	4,843,827
受取手形及び売掛金	2,179,292	2,274,128
商品及び製品	722,697	2,056,342
未成工事支出金	1,278,966	2,833,288
原材料及び貯蔵品	80,002	68,668
その他	2,106,502	1,907,728
貸倒引当金	△193,551	△150,981
流動資産合計	9,142,698	13,833,003
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,829,637	5,108,930
土地	2,375,158	2,386,322
その他（純額）	554,756	734,447
有形固定資産合計	7,759,552	8,229,701
無形固定資産		
のれん	124,310	91,705
その他	154,103	151,379
無形固定資産合計	278,413	243,084
投資その他の資産		
差入保証金	2,219,398	2,275,288
その他	1,327,824	1,136,973
貸倒引当金	△468,045	△292,385
投資その他の資産合計	3,079,178	3,119,876
固定資産合計	11,117,144	11,592,662
資産合計	20,259,842	25,425,665

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,304,720	3,371,475
未成工事受入金	2,063,639	5,519,573
短期借入金	1,222,236	1,758,767
未払法人税等	318,247	116,127
賞与引当金	626,177	334,631
引当金	156,987	165,444
その他	2,136,189	2,406,119
流動負債合計	8,828,199	13,672,138
固定負債		
長期借入金	939,250	568,600
資産除去債務	496,713	534,825
その他	446,949	520,110
固定負債合計	1,882,912	1,623,535
負債合計	10,711,112	15,295,673
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,000,000	4,000,000
資本剰余金	794,465	807,206
利益剰余金	8,045,528	8,566,079
自己株式	△2,074,681	△2,006,904
株主資本合計	10,765,311	11,366,381
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,739	13,781
繰延ヘッジ損益	△2,827	△5,766
土地再評価差額金	△1,246,493	△1,244,405
その他の包括利益累計額合計	△1,216,581	△1,236,390
純資産合計	9,548,730	10,129,991
負債純資産合計	20,259,842	25,425,665

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	39,122,003	43,685,016
売上原価	24,220,581	26,532,233
売上総利益	14,901,422	17,152,782
販売費及び一般管理費	13,461,682	15,281,774
営業利益	1,439,739	1,871,008
営業外収益		
受取利息	12,198	10,729
受取配当金	9,017	12,389
受取地代家賃	9,111	9,397
受取手数料	7,320	12,916
その他	29,486	29,833
営業外収益合計	67,133	75,267
営業外費用		
支払利息	41,098	33,851
減価償却費	8,839	10,627
為替差損	16,971	46,248
その他	18,379	20,476
営業外費用合計	85,289	111,203
経常利益	1,421,584	1,835,071
特別利益		
固定資産売却益	32,000	8,555
営業権譲渡益	8,600	—
投資有価証券売却益	10,753	—
特別利益合計	51,353	8,555
特別損失		
固定資産処分損	9,615	2,884
減損損失	—	87,339
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	98,673	—
特別損失合計	108,288	90,224
税金等調整前四半期純利益	1,364,649	1,753,402
法人税、住民税及び事業税	303,526	418,948
法人税等調整額	80,959	423,028
法人税等合計	384,485	841,976
少数株主損益調整前四半期純利益	980,163	911,426
四半期純利益	980,163	911,426



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	980,163	911,426
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,636	△18,957
土地再評価差額金	—	2,087
繰延ヘッジ損益	△23,108	△2,939
その他の包括利益合計	△20,472	△19,808
四半期包括利益	959,691	891,617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	959,691	891,617
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	クリクラ事業 (注) 1	レンタル事業	建築コンサル ティング事業	住宅事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,958,438	8,439,452	1,657,416	22,066,696	39,122,003	—	39,122,003
セグメント間の内部 売上高又は振替高	181	297	—	—	478	△478	—
計	6,958,620	8,439,749	1,657,416	22,066,696	39,122,482	△478	39,122,003
セグメント利益又は損失 (△)	△57,085	1,409,065	251,198	634,354	2,237,533	△797,793	1,439,739

(注) 1. 「クリクラ事業」は、従来「ボトルウォーター事業」と表示しておりましたが、「クリクラ」というブランド名が認知されてきたことから、セグメントの名称を変更しております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△797,793千円には、セグメント間取引消去・その他調整額71,599千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△869,393千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	クリクラ事業 (注) 1	レンタル事業	建築コンサル テイング事業	住宅事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,714,790	8,189,949	2,202,308	23,577,968	43,685,016	—	43,685,016
セグメント間の内部 売上高又は振替高	219	461	—	—	680	△680	—
計	9,715,009	8,190,410	2,202,308	23,577,968	43,685,697	△680	43,685,016
セグメント利益	354,846	1,181,891	382,660	698,455	2,617,853	△746,845	1,871,008

- (注) 1. 「クリクラ事業」は、従来「ボトルウォーター事業」と表示しておりましたが、「クリクラ」というブランド名が認知されてきたことから、セグメントの名称を変更しております。
2. セグメント利益の調整額△746,845千円には、セグメント間取引消去・その他調整額76,945千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△823,790千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「住宅事業」セグメントにおいて、閉鎖する2店舗に係る固定資産の帳簿価額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては87,339千円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当社は、平成24年1月31日開催の取締役会において、当社を株式交換完全親会社、株式会社アーネストを株式交換完全子会社とする株式交換(以下、「本件株式交換」)を行うことを決議し、同日、株式交換契約書を締結しております。なお、本件株式交換は、会社法第796条第3項に基づき、当社の株主総会の承認を必要としない簡易株式交換であります。

また、株式会社アーネストにおいては平成24年2月3日開催の臨時株主総会で承認されております。

1. 株式交換による完全子会社化の目的

株式会社アーネストは、東京都及び近県において、ビル・店舗を中心に業務市場の清掃管理業務等を行っております。また、当社はレンタル事業において、家庭市場及び業務市場において清掃業務等を行っており、株式会社アーネストが持つビルメンテナンス事業のノウハウを吸収すると共に、さらなる規模の拡大と業務市場におけるサービスの充実ならびに効率化を図るべく、同社の全株式を取得し完全子会社とするものであります。

2. 株式交換の日程

平成24年1月31日 株式交換契約書の締結

平成24年3月1日(予定) 株式交換の日

3. 株式交換比率

① 株式会社アーネストの普通株式1株に対し、当社の普通株式1,700株を割当て交付します。

② 株式交換により交付する株式数等

当社は、本株式交換により、普通株式340,000株(予定)を割当て交付いたしますが、交付する株式は当社が保有する自己株式を充当し、新株式の発行は行いません。

## 4. 補足情報

受注の状況

セグメントの名称	受注高 (千円)		受注残高 (千円)	
	前第3四半期 平成22年4月1日～ 平成22年12月31日	当第3四半期 平成23年4月1日～ 平成23年12月31日	前第3四半期 平成22年12月31日現在	当第3四半期 平成23年12月31日現在
住宅事業	25,243,111	32,136,807	14,840,293	22,534,750